

平成24年度市政モニター 第3回アンケート結果

テーマ1 「学校選択制」について

学校教育部 学事課

テーマ2 「市政モニター制度」について

総合政策部 政策審議室（広聴担当）

八王子市 総合政策部 政策審議室

目 次

《市政モニターの属性》	1
テーマ1 「学校選択制」について	2
問1 未就学児・小中学生のお子さんの有無	4
問2 「学校選択制」の認知	4
問2-1 「学校選択制」の内容の認知	5
問3 「学校選択制」への意向	6
問4 学校と地域が連携した取り組みの状況	7
問4-1 取り組みが行われていないと思う理由	7
問5 小・中学生の地域活動への参加の状況	8
問5-1 地域活動に参加していないと思う理由	8
問6 地域での育成活動の状況	9
問7 「学校選択制」に対する意見（自由記述）	10
テーマ2 「市政モニター制度」について	18
問1 知りえた手段	18
問2 適切な任期	19
問3 妥当な謝礼額	20
問4 取り上げるべき施策	21
問5 「市政モニター制度」に対する意見（自由記述）	22

《市政モニターの属性》

(太枠内は今回の回収数)

		一般		Eメール		合計	
全体		27	27	73	71	100	98
性別	男性	12	12	40	38	52	50
	女性	15	15	33	33	48	48
年代	10歳代	0	0	0	0	0	0
	20歳代	2	2	8	7	10	9
	30歳代	6	6	22	22	28	28
	40歳代	5	5	8	8	13	13
	50歳代	2	2	5	5	7	7
	60歳代	7	7	20	19	27	26
	70歳代	5	5	9	9	14	14
	80歳代	0	0	1	1	1	1
地区	中央 (本庁地区)	5	5	20	20	25	25
	西南部 (浅川・横山・館地区)	9	9	15	14	24	23
	東部 (由木・由木東・南大沢地区)	5	5	13	13	18	18
	西部 (元八王子・恩方・川口地区)	2	2	8	7	10	9
	東南部 (由井・北野地区)	5	5	12	12	17	17
	北部 (加住・石川地区)	1	1	5	5	6	6

※ アンケート実施期間：平成24年12月20日から平成25年1月9日まで

※ 回収率：98.0%

※ 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で表示した。(百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出してあるため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。)

※ 割合の表現については、各値が、「0.0%」の場合は「〇割」、「0.1~0.9%」の場合は「ほぼ〇割」、「1.0~3.9%」の場合は「〇割強」、「4.0~5.9%」は「〇割台半ば」、「6.0~8.9%」の場合は「〇割弱」、「9.0~9.9%」の場合は「ほぼ〇割」との表記を基本とする。

※ 自由記述等については、通し番号でありモニター番号ではない。

テーマ 1 「学校選択制」について

学校教育部 学事課

本市では、お住まいの住所により通学区域を設けて入学する小・中学校を指定（以下、「指定校」という。）していますが、指定校に入学することを原則としつつ、児童・生徒や保護者の希望で入学する学校を選ぶことができる学校選択制を、平成 16 年度から導入しています。

今後の学校選択制を考える上で参考とするため、学校選択制の現状や導入効果、また、地域コミュニティとの関わりについて、市政モニターの皆さんにご意見をお伺いします。

学校選択制の概要

1 目的

学校選択制は、子どもに適した小・中学校を選択することができることで、入学後の学習や学校生活に積極的に取り組む意欲を高め、「特色ある学校づくり」や「開かれた学校づくり」を推進するとともに、学校と家庭が相互に連携協力し、地域に信頼される学校づくりを推進することを目的に実施しています。

2 学校を選択できる時

小・中学校に入学する時や住所変更により転校する時

3 選択できる学校

小学校：指定校とその指定校の隣接校から選択

中学校：すべての市立中学校から選択

※ 小・中学校とも、普通教室の不足が見込まれることにより選択できない学校（選択除外校）があります。

4 平成 24 年度 学校選択制の結果について

次ページの資料をご覧ください。

※ 学校選択制の概要については、市のホームページ上でもご覧になれます。

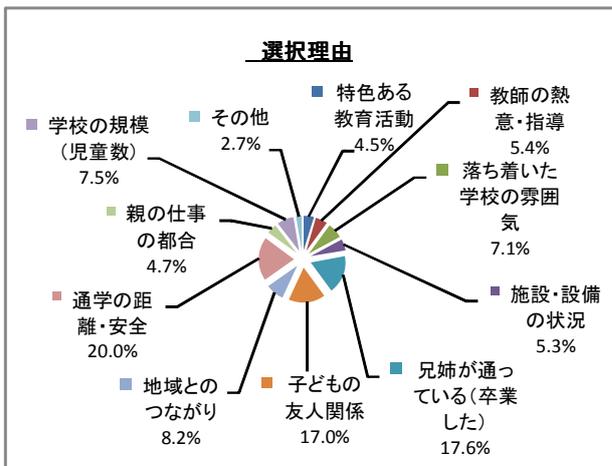
<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/hogosha/002300.html>

平成 24 年度 学校選択制の結果について

小学校（新入学）	人数（人）	割合（％）	
		24年度	23年度
入学者数	4,538		
選択希望者数	632	13.9	15.0
許可区域を除いた数	531	11.7	12.0

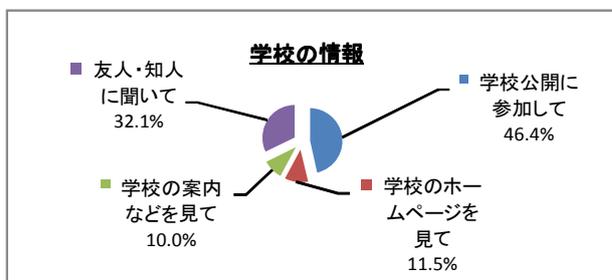
○選択理由アンケート（H23年度新入学より複数回答可）

特色ある教育活動	69	4.5	4.6
教師の熱意・指導	83	5.4	4.9
落ち着いた学校の雰囲気	109	7.1	5.3
施設・設備の状況	81	5.3	4.2
兄弟が通っている（卒業した）	271	17.6	19.0
子どもの友人関係	261	17.0	17.2
地域とのつながり	127	8.2	7.0
通学の距離・安全	308	20.0	23.4
親の仕事の都合	72	4.7	4.2
学校の規模（児童数）	115	7.5	7.7
その他	42	2.7	2.5



○学校の情報（複数回答可）

学校公開に参加して	362	46.4	42.6
学校のホームページを見て	90	11.5	12.1
学校の案内などを見て	78	10.0	12.1
友人・知人に聞いて	251	32.1	33.2



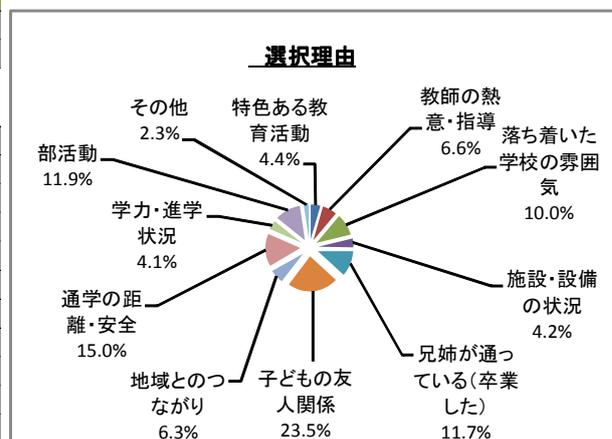
○通学の距離

指定校の方が近い	118	20.6	19.0
選択校の方が近い	240	41.9	46.2
どちらも同じくらい	215	37.5	34.8

中学校（新入学）	人数（人）	割合（％）	
		24年度	23年度
入学者数	4,468		
選択希望者数	953	21.3	22.8
許可区域を除いた数	845	18.9	19.8

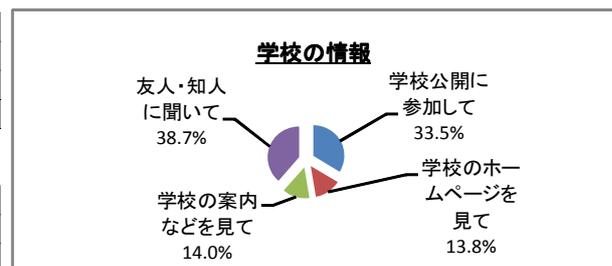
○選択理由アンケート（H23年度新入学より複数回答可）

特色ある教育活動	108	4.4	5.3
教師の熱意・指導	163	6.6	6.8
落ち着いた学校の雰囲気	249	10.0	9.1
施設・設備の状況	103	4.2	3.3
兄弟が通っている（卒業した）	291	11.7	13.0
子どもの友人関係	581	23.5	22.8
地域とのつながり	157	6.3	6.2
通学の距離・安全	372	15.0	14.2
学力・進学状況	102	4.1	4.1
部活動	294	11.9	12.1
その他	57	2.3	3.1



○学校の情報（複数回答可）

学校公開に参加して	447	33.5	35.9
学校のホームページを見て	184	13.8	12.6
学校の案内などを見て	186	14.0	11.8
友人・知人に聞いて	515	38.7	39.7



○通学の距離

指定校の方が近い	243	27.6	34.3
選択校の方が近い	321	36.4	31.6
どちらも同じくらい	317	36.0	34.1

問1 あなたには、未就学児、小・中学生のいずれかのお子さんがいますか。(○は1つだけ)

(n=98)

	構成比(%)
いない	69.4
いる	29.6
無回答	1.0

モニター全員に未就学児、小・中学生のいずれかのお子さんがいるかどうか聞いたところ、「いない」がほぼ7割(69.4%)、「いる」がほぼ3割(29.6%)であった。

問2 本市において、学校選択制を実施していることをご存じでしたか。(○は1つだけ)

(n=98)

	構成比(%)
知っていた	62.2
知らなかった	36.7
無回答	1.0

学校選択制を実施していることを知っていたか聞いたところ、「知っていた」が6割強(62.2%)、「知らなかった」が4割弱(36.7%)であった。

(問2で「知っていた」とお答えの方に)

問2-1 本市の学校選択制では、小学校は指定校とその隣接校の中から、中学校は全ての市立中学校から選択できることをご存じでしたか。(○は1つだけ)

(n=61)

	構成比(%)
知っていた	52.5
知らなかった	45.9
無回答	1.6

問2で学校選択制を実施していることを「知っていた」と回答した方に、本市の学校選択制では、小学校と中学校で選択できる学校の範囲が異なることを知っていたか聞いたところ、「知っていた」が5割強(52.5%)、「知らなかった」が4割台半ば(45.9%)であった。

問3 子どもに適した小・中学校を選択できる機会があるということについて、どのように思いますか。(○は1つだけ)

(n=98)

	構成比(%)
ある方がよいと思う	42.9
どちらかといえばある方がよいと思う	33.7
どちらかといえばない方がよいと思う	18.4
ない方がよいと思う	3.1
無回答	2.0

子どもに適した小・中学校を選択できる機会があるということについて、どのように思うか聞いたところ、「ある方がよいと思う」が4割強(42.9%)と最も多く、次いで「どちらかといえばある方がよいと思う」が3割強(33.7%)で、両方を合わせると8割弱(76.6%)であった。

問4 学校では、地域の人材や地域資源を活用した授業や地域の意見を反映した（地域の特性に応じた）学校づくりなど、地域と連携した取り組みが行われていると思いますか。（○は1つだけ）

(n=98)

	構成比(%)
そう思う	16.3
ややそう思う	29.6
あまりそうは思わない	21.4
そうは思わない	6.1
わからない	24.5
無回答	2.0

学校で地域の特性に応じた学校づくりや地域と連携した取り組みが行われていると思うか聞いたところ、「そう思う」(16.3%)と「ややそう思う」(29.6%)を合わせた『思う』は4割台半ば(45.9%)で、「そうは思わない」(6.1%)と「あまりそうは思わない」(21.4%)を合わせた『思わない』は3割弱(27.5%)であった。

(問4で「あまりそうは思わない」または「そうは思わない」とお答えの方に)

問4-1 「地域と連携した取り組みが行われていない」と思うのは、なぜですか。

(○はいくつでも)

(n=27)

	構成比(%)
学校の情報が地域に伝わってこないため	70.4
学校と地域が意見を交換する場が少ないため	66.7
学校が地域の人材や地域資源を活用した授業をあまり行ってないため	37.0
その他	7.4

【その他】

- ・ 学校に協力してくれる方々の具体的な協力内容別の人材登録がなされていると、双方のやり取りがスムーズに進み連携して行えるのではないかと。
- ・ 以前、所定用紙でボランティアを申し込んだがなしのつぶてだった。町会しか相手にしてもらえない。

問4で「あまりそうは思わない」、または「そうは思わない」と答えた方に「地域と連携した取り組みが行われていない」と思うのはなぜか聞いたところ、「学校の情報が地域に伝わってこないため」が最も多くほぼ7割(70.4%)であった。

問5 あなたのお住まいの地域の小・中学生は、町会のお祭りや地域の皆さんが実施しているスポーツ、伝統芸能活動などに参加していますか。(○は1つだけ)

(n=98)

	構成比(%)
参加している	18.4
ときどき参加している	32.7
あまり参加していない	9.2
参加していない	5.1
わからない	33.7
無回答	1.0

地域の小・中学生が町会のお祭りやスポーツ、伝統芸能活動等の地域活動に参加しているか聞いたところ、「参加している」(18.4%)と「ときどき参加している」(32.7%)を合わせた『参加している』は5割強(51.1%)であった。

(問5で「あまり参加していない」または「参加していない」とお答えの方に)

問5-1 「小・中学生が、町会のお祭りや地域の皆さんが実施しているスポーツ、伝統芸能活動などに参加していない」のはなぜだと思いますか。(○はいくつでも)

(n=14)

	構成比(%)
地域の皆さんと小・中学生のふれ合う機会が少ないため	57.1
小・中学生の保護者の多くが地域の活動に関心をもっていないため	42.9
地域活動の情報が小・中学生に十分伝わっていないため	35.7
小・中学生の多くが地域の活動に関心をもっていないため	14.3
その他	42.9

【その他】

- ・ 親が仕事で忙しく参加出来ないから。
- ・ 町会は子どもとのふれあいの機会を増やし、清掃など社会勉強を兼ねて行事を行っているが、保護者の関心が不足している。学校からも参加を呼びかけてほしい。
- ・ 仕事をしているので、日程、時間帯が合わない。
- ・ 子どもたちが忙しすぎて地域の活動にまで参加できていない。特に高学年。
- ・ 町会自体に問題。新住民は参加しにくい雰囲気が極めて強い。

小・中学生が地域のお祭りなどの行事に参加していないのはなぜだと思うか聞いたところ、「地域の皆さんと小・中学生のふれ合う機会が少ないため」が最も多く6割弱(57.1%)であり、次いで「小・中学生の保護者の多くが地域の活動に関心をもっていないため」が4割強(42.9%)であった。

問6 あなたのお住まいの地域では、地域の皆さんが、登下校中の小・中学生の安全を見守るなど「地域の子ども」として育てようという活動が行われていますか。(○は1つだけ)

(n=98)

	構成比(%)
行われている	39.8
やや行われている	24.5
あまり行われていない	7.1
行われていない	1.0
わからない	25.5
無回答	2.0

地域で「地域の子ども」として育てようという活動が行われているか聞いたところ、「行われている」(39.8%)と「やや行われている」(24.5%)を合わせた『行われている』は6割台半ば(64.3%)であり、「あまり行われていない」(7.1%)と「行われていない」(1.0%)を合わせた『行われていない』は1割弱(8.1%)であった。

問7 「学校選択制」について、ご意見がありましたらお書きください。

賛成（選択の自由は必要）

- 1 修学の方が選択できることはとても良いことだと思う。 (40代 男性 東南部)
- 2 選択制は保護者（父兄）の立場からして何らかの理由があって選択することができることはよいことと思う。 (70代 男性 西部)
- 3 選択肢がひろがることは、学校教育の向上につながる上、いじめなど環境を変えたい場合も適用されるので、選択制度については推進すべきだと思う。 (40代 女性 西南部)
- 4 選択の自由は、必要に思う。 (60代 男性 西部)
- 5 本人にも親にも選択の幅が広がり、良いことだと思う。 (30代 男性 西南部)
- 6 学校を選択できるのは良いことだと思う。その子供の個性を尊重してその子供に合った環境を与えることができるので。 (60代 女性 中央)
- 7 選択できる自由があるのは良いことだと思う。学校も、それぞれ教育方針なども違うので、本人に合った学校が選べるのが望ましいと思う。 (50代 女性 西南部)
- 8 各学校の特色や通学の距離など、学校を選択することができるのは、良いと思う。 (40代 女性 東南部)
- 9 地域の特性や、子供の個性に合わせるためには「学校選択制」は必要不可欠だと思う。 (40代 男性 西南部)

賛成（いじめ対策になる）

- 10 いじめの関係で転校したい時、行かせたくない時に選択できるから賛成だ。孫が小学1年の時に校長に担任が報告しても対応が悪く孫も転校にした。
他にも転居した人が数人あり、生徒は減るばかりで新1年生の入学児童が少なく分校の様になり、運動会などクラス対抗ができず縦割りだった。
それでもいじめを止めるには仕方ない方法と思った。
選択制は必要だ。選択制がなかったら不登校の子供が多くなる。 (70代 女性 西南部)
- 11 いじめ問題などの対応に対しての有効性を認める。 (60代 男性 東部)
- 12 良いことだと思う。
最近、いじめや自殺の問題が報道されている。
学校長や教育委員会は記者会見で、いじめが自殺の原因である因果関係が立証できないと報道されていることがしばしばある。それは教育者自身の保身であり職務の放棄だと考える。
子供はいじめがあったと遺書を残し死んでいるのだから。
従って学校がだめならば学校を変える選択肢を子供にも残すべきだ。
また、学区境の関係で近くに小中学校がある場合等については選択制があっても良いのではないだろうか。 (70代 男性 中央)
- 13 今、学校ではいじめ問題が発生している。昔も今と同じようにいじめの問題はあった。その時には、今のように学校選択制がなかったので、いじめられても我慢するしかなかった。今はそのような時に転校する制度があれば、生徒や父兄にとって、大変良い制度だと思う。 (70代 男性 西南部)

賛成（特色ある学校づくりが進むから）

- 14 「学校選択制」の詳細がわからないので、意見することができないのだが、自分の経験からすると、（選択制でなかったため）入部したい部活がない等、希望の学校へ入れなかったデメリットもあった。そのため、ある程度選択（肢）がある方が、その子の特性を生かせるのではないかと思う。（30代 女性 東南部）
- 15 ・何事も選択権を持っていることは必要
・学校間でも刺激を受けて、自主的により良い学校になるよう努力すると思う。（40代 男性 中央）
- 16 選択制は、いいことだと思う。学校は、生徒に選択してもらえるよう努力し特色を出すだろうし、生徒は何も考えずに指定された学校に進学するのではなく、各学校の特色、高校への進学実績やカラーをみてから志望できるという利点がある。保護者にとってもいい制度だと思う。ただ、実際は、遠くて通いきれないと諦める人や、いざ選択して通っても毎日の通学となると大変だったり、学校の雰囲気馴染めなかったりすることもあると思う。
娘は、近隣市の私立中学校に通っているが、公立の中学校に進学するとしても最寄りの指定校ではなく、他の中学校を選ぶ予定だった。理由は、生徒数が少なすぎることと学力レベルが低いということだ。
私の個人的な見解だが、娘の小学校時代の保護者は熱心な保護者とそうでない保護者に極端に分かれていた。熱心な保護者にとって選択制は有難い制度であり、そうでない保護者にとってはそれほど関係ない制度なのではないだろうか。（40代 女性 西南部）
- 17 孫が3歳で関心はあるが、選択制を実施して学校同士が教育方法のレベルアップを図るよう、学校長の手腕を問いたい。（60代 男性 中央）

賛成（その他）

- 18 住んでいるところは、どの学校も遠いが、選ぶことができたら通学路のことなど考慮して考えることができるので、いまのまま選択できるほうがうれしい。（30代 女性 東部）
- 19 選択肢があるということは、学校に対する興味や関心を従来よりも持つきっかけになり、保護者・生徒側も就学前から学校に対して興味や関心を積極的に持ち、学校側も学校情報を提供する機会になると思う。
両者が積極的に考える機会があることは、いじめ等の問題の対策、解決へ前進すると期待できる。（30代 女性 中央）
- 20 学校選択制を利用し、3人目の子どもだけ隣の少人数の学校へ入学した。
地域運営学校ということもあり、登下校の見守りや行事などとても丁寧に対応していただき、毎日楽しく通学している。
子どもの一生を左右する小学校入学で両方の学校の特色をよく見て、その子に合った学校を選び、本当に良かったと思う。（30代 女性 西南部）

賛成（ご意見あり）

- 21 指定校制のバカバカしさを考えると、とても重要な制度だと思うが、問題は通学距離・時間

にあり、過度にこの制度を解釈すると遠くの学校も選択できるわけで生徒に意味ない負担を負わせることにもなる。

そういった「よくない部分」について、親とか教師がうまく判断しながら運営していくことが求められる制度であることを考えながら適用させていく必要を感じる。(60代 男性 北部)

22 昔は選択できなかったものでこれはとてもいいことだと思う。

ただ中学に偏りができた場合は選ばれなかった学校は選ばれる努力をしてほしい。

クラブ活動については地域の父兄にボランティアできてほしい。

また、勉強についても簡単に塾に行かせるのではなく、地域の方々が教える制度があってもいいと思う。(60代 女性 東南部)

23 より選択を自由化し、私立中学校に行かなくても高レベルの教育が受けられるようにできないか。(80代 男性 北部)

24 私の子供の頃と比べると生徒一人一人の個性を伸ばすことが重視される社会環境であると感じるため、学校選択制を導入していることは、とても良いと思う。

地方自治体によって教育施策に個性が出るが、一般社会が個性ある人々の集合体であるということを見ると、今後とも時代のニーズに即した本市らしい教育施策の充実化が必要だと感じている。

同時に子どもたちが高等教育機関への進学を希望する際、基礎的学力の不足や年齢に応じた立ち振る舞いが自然に行えるよう、教育することも大きな課題だと感じている。

つまり個々の学校を魅力あるものにすることも重要だが、大人になるための共通の教育を行うことは、すべての方々に必要だと考える。

その上で、個々人に応じた学校を子どもたちが選べるよう、自治体として工夫することが求められていると思う。(30代 男性 中央)

25 良いと思う。住所だけで分けられ、近くの学校へ行けないということは何かと不便だ。

学校の活動様子で選べるのもよい。教育委員会の実行力の無さや無機能などがいじめ問題で指摘されていることを知ったからだ。

迎え入れるために学校側、教育委員会側が自分たちの都合ではなく、子供たちのために変われることを期待する。(40代 女性 東部)

26 市立(公立)学校も最近はそれぞれ特色を持っている学校が増えてきていると思うので、子供の個性も十人十色であるように、少しでもその子供に適した学校を選択できる機会があるのは良いことだと思う。

個性・特色という利点以外にも、最近問題になっているいじめや不登校などの子供が抱える繊細な心理状況や、いじめなどの重大な問題を抱えながら接しなければならない教員の精神的苦労なども考慮すると学区という区切りだけで進学する学校を無理やり割り振られてしまうよりも、児童・保護者・教員それぞれにとって得策になると思う。

ただ、あまり広範囲に学校が選択できるようになると、地域のまとまりという面ではバラバラになる可能性も増えてしまうと思うので、小中学校選択可能といっても、周辺2~3校の中での選択程度に範囲を狭める方が良いのではないかと感じる。(30代 女性 東南部)

27 良いことだとは思いますが一つの学校に集中してしまう傾向があると思う。

これが解決できれば選択の自由が優先され、それぞれの児童に合った学校選びができるので

はないだろうか。

(60代 男性 西南部)

部分的に賛成もしくは部分的に反対

- 28 本当は地域の子供たちが同じ学校に通学し、おさななじみを深めてもらいたい。
しかし、いじめなどの問題がおきたとき生徒と親の選択として残す必要があると思う。一応賛成。
(60代 男性 西南部)
- 29 学校を選ぶことができるのは、良いと思うが、最寄りの学校に生徒が増えすぎるのも困る。
(30代 女性 東南部)
- 30 学力アップのためだけを目的としているのであれば、賛成できない。
たとえば、いじめからの逃避などのためであれば、賛成である。
勉強をする子供はどこ学校であろうと勉強しようという意思を持っている。
(60代 男性 東南部)
- 31 各学校に、選ぶ理由となる特色があるのだろうか？
成績（偏差値）の良し悪しで選ぶのなら、選択制はない方がいいと思う。(60代 女性 中央)
- 32 子供にあった学校を選べるという利点はあるが、学力や設備など、目につきやすい評価だけで選択する人が増えれば、学校が人気取りになるのでは、という心配もある。
(30代 女性 中央)
- 33 学校間の競争意識につながるような気がして、あまり積極的に利用したいとは思わないが、先生や、友達との関係や、学区の境目に居住している場合などのことを思うと、選択制は有効だと思う。
(30代 女性 西部)
- 34 学校選択制をすると、人気のある学校とそうでない学校が出てくると思う。人気のない学校に対して、今後どのような対処や政策をするか非常に気になる。
学校選択制はあってもいいと思うのだが、公立の小・中学校なので、自宅から近い学校に通うのが自然でいいと思う。
(30代 女性 東部)
- 35 近年地域生活において、核家族や単身家族が多く、地域社会に溶け込めなかったり、その機会を見つけ出せず、孤立して問題となる場合がよく聞かれる。地域に何代も定着している場合は別にして、地域では小学校、中学校の子供を通じて知り合いになり、友達付き合いや地域社会に溶け込む場合が多い。また、地域社会の活性化に寄与している場合がある。従って、できれば地域の学校を選ぶのが良いのではと考える。しかし、いじめなどが有る場合は、学校選択制は選択枝の一つとして有意義と考える。
(70代 男性 中央)

小学校と中学校を分けて考えるべき

- 36 中学校では色々な面で近所に行かない家庭もあるようなので選択制があってもよいが、小学校ではやはりお祭り・子供会などの参加があり、親は近所づきあいをしないでもよいが子供はかわいそうなことがあると思う。新住民は交通などを考えて町中に行かせない人がいるが子供会などの時によその学校に行っていると困ることがあるので選択制はよくないと思う。
(60代 女性 中央)
- 37 小学校については、今後積極的に進めていってほしいと思うが、中学校については、高校全入の時代、学力・進学状況でもって選択を考えてくると学校間較差が出てくるのではないかと危惧

する。 (60代 男性 西南部)

- 38 小学校は初めての学び舎であり、地域のなじみの友達がいる学区制を基本とし、地域を愛する心を養ってほしい。

中学校は全市対象の学校選択制がよいと思う。その理由として、これからの時代は、個性を伸ばす教育が重要と思われること、並びに、学校間の競争が生まれ、各学校の特徴と教育レベルの向上が期待でき、しいては日本の教育向上に繋がると考える。 (70代 男性 東南部)

- 39 小・中学校を分けて考えるべき。

小学校は近いところに1か所限定しても良い。近所の子供と遊べない。同じ学校なら近所の子と遊べる。

体力的に近場は楽である。登校下校時にも比較的安心できる。

中学校は選んでも良いと思える、体力もあるし通学は遠くても可能ではあるが、これは親が決めるので、親の見栄で子供の遠距離通学には問題があると思われる。(満員の電車やバスに通学するのはいかが？勤め人も困るのでは?) (60代 男性 東部)

- 40 少子化に伴い、公立の小中学校も生徒数が減ってきていると思うが、一クラスの生徒数が減れば、それだけ生徒一人一人に目が届いた丁寧な授業ができるようになると思う。小学生には、まだ地域の中の学校で地域の人達の協力のもとでのアットホームな環境が大切だと思うが、中学生からは隣接地域に範囲を伸ばして、その中で特色のある学校を作り、子供達が学校を自由に選択できて、学力を伸ばせるような仕組みにしたらいのではないかと思う。

(60代 女性 西南部)

反対

- 41 根拠のない噂で学校の選択がなされることもあり、小中学校については選択制はない方がよい。 (70代 男性 東南部)

- 42 現実には学校に通う子供がいないので、学校の活動というものがよくわからないのが現状だ。また家が通学路に面していたり、小中学校そのものが家の近くにあれば子供たちの様子もかいまみることができるが、それもなく家族全員がサラリーマン生活をしていると、今の子供たちの実態というのはメディア(市報なども含め)を通してしか知ることができない。なので、現代の必要性や重要度とは多少ズレがあるかと思うが、私は公立の小中学校は公立であること、義務教育であることを考えれば、どこの学校でも同じ教育が受けられることが大前提であると思う。スポーツや文化などの特殊な教育を重んじて受けたいのであれば私立へ行けばいいように思うし、通学路の安全性は基本的に守られているべきものと思う。このように考えてみると、少し古い考え方なのかもしれませんが、特別に私立学校を選ぶのでなければ、小中学校の学校選択制度にはあまり必要性はないように思う。昔のように住所地により決められた小中学校へ通うことで何ら問題はないように思うのは私のような者だけだろうか。 (40代 女性 東南部)

- 43 学校選択する場合何を根拠にするかが問題だと思う。あまり選択制が著しくなると子供のためなのかどうか疑問になってくる。 (70代 男性 西南部)

- 44 今年度だけでも、選択理由が「親の仕事の都合」の生徒が72人もいることに驚いた。

子供のことを一番に考えられない大人がこんなにもいるものかと情けない。

大人の都合で子供(たち)を振り回してはいけない。

そう考えると、この制度は本当に良いものなのか、必要なかと疑問に思う。

(20代 女性 東部)

45 地域コミュニティが今後希薄になることを危惧する。

(50代 女性 中央)

46 特別の事由、例えば、いじめ、障害等で通学上の問題等がない限り公的な学校では選択は不要では。

教育関係者以外の委員による委員会を設けて判定をし、事由の情報は、今後教育関係者をまじえて討議するなどきめ細かい運営が必要かと

基本的には私学とは違うわけで、例外的な事項としたほうが将来の地区の友人関係の希薄化を防ぐなど良い効果が期待できる

(60代 男性 中央)

47 選択できることで、かえって迷いがでてくるのでは。

選択した児童がこれまでの仲間とはずれるため、不登校生になったりいじめの対象になっていないか。

我々の小さい時、住民票だけ移して（寄留といった）校区外の学校にいったが、なじめず校区内に帰ってくることがよくあった。

(70代 男性 北部)

48 もう交代したが、暴走老人都政の下での選択制はポジティブな面よりは学校間の成績競争（それも望ましくないペーパーテストの）などや、教職員の負担増等ネガティブな点のほうがめだつ。

私は導入すべきではないと思う。

(70代 男性 北部)

49 各個人で学校を指定して入れるのは悪くはないが、その地域の住民は小・中学校とここだと決まっていれば、そうした方が良い。わがままに自由にどこでも学校選択が行われるのは危険では。

※ありのまま、そこに住んだらその小・中学校に通うことが一番では？

(50代 男性 中央)

50 学校教育のあり方において、学区制があることの意義を考えたとき、父兄においては我が子を少しでも学力の高い学校に入学させたい要望はあると思うが、これでは八王子市全体の教育を考えると学校の地域格差が進行してしまう。また地域の子どもの絆も薄れてしまうと思う。

地域にはそれぞれ長い歴史があり、その中で郷土愛や絆を育んできたと思う。私達の時は、あの学校には負けまいと先生・生徒・親が一丸となって頑張っていた。そして学校生活が終わり、それぞれの分野に巣立ち、活躍し、また同期の仲間の強い思い入れが残る。

私はすでに70歳を超えているが、いまだに小中学校の同窓会を楽しみにしている。会えばお互いの健康を祝い、心配していつまでも当時のままでの付き合いがある。高校大学等の同窓会は参加してもあまり面白くない。

このようなことを考えると、通学区域の必要性は大変重要である。それぞれの学校で先生、生徒が切磋琢磨しその学校で過ごし、得たものが本当に良かったと思えるような学校生活でありたいと考える。

(70代 男性 西南部)

51 基本的には無い方が、教育の公平性に繋がると思う

(40代 男性 東南部)

52 人気校、不人気校の2極化という状況が生じるのであまり好ましくないと思っている。

(30代 女性 東南部)

53 個人的な意見としてだが、小・中学校の段階から、公立で選択制にすることにあまりメリッ

トを感じられない。

(30代 男性 中央)

現状の問題点

- 54 八王子みなみ野のように、子供の数が増えているのに学校が足りないために、近い学校に入れないのはかわいそうだと思う。宅地化の波に乗り、学校も増やして、その中でよりよい学校に行く選択肢を増やしてあげたい。(30代 女性 西南部)
- 55 今、子どもは指定校(創立30年超)に通っている。
通学時間や学校の規模、運営、校風、ボランティアの方々の尽力など、毎日何の問題もなく、親も子どももとても満足している。
ところが設備という面では、隣接校(創立数年)との大きな隔たりを感じる。
昨年、同校はエアコン設置工事、耐震補強工事を行った。トイレに関してはごく一部の改修工事を行った。
一方、隣接する学校は新設校であり、そういった問題とは皆無だと思う。
しかし定員の関係から、隣接校でも指定地域以外の生徒は認められない。
創立30数年と新設で設備の隔たりがあるのはやむを得ないが、同じ八王子市の納税者として、せめて学校のトイレぐらいは一斉工事ができないだろうか。(40代 男性 東南部)
- 56 ・一度、同学区の小学校に入学すると中学校が大変遠くなる(ex.下柚木小学校=徒歩15分、宮上中学校=徒歩40分)確率が高い(他の中学校は人数制限があり入りづらい等の理由)等の問題も地域で指摘を受けており、もっと弾力性のある選択制を実施してほしい
・いじめられた子と同じ学校に行きたくない等の理由も考慮してほしい。(考慮されているのかもしれないが学校に意見をしても説得のみで対処してもらえなかった) (40代 男性 東部)

情報提供の充実を

- 57 学校案内のパンフレットを広報紙に折り込んでほしい。(30代 女性 西南部)
- 58 現在、学校内でのいじめが増加しているため、学校内の現在の情報をホームページに公開したほうが良いのではないか。(20代 男性 西南部)
- 59 八王子の学校のホームページを見たが、そこに書かれている情報だけでは学校選択はできないと思う。
選択理由のアンケートが示しているように、身近に誰か通っているか知っている人がいない限り判断は難しいと思うので、それ以外では複数回の学校公開や卒業生達の意見を聞くなど必要と思った。(60代 男性 東部)
- 60 まず、その学校側の考えを聞きたい。
学校サイドの労力、努力も大変と思われるので地域への働きかけも少ないのではないかと感じている。(70代 男性 東南部)
- 61 ・それぞれの学校の特徴や特色を積極的に情報発信すべきだと思う。
・各学校の違いが分からない。(30代 男性 中央)
- 62 来春、幼稚園に入園する娘がいるが、入園にあたって希望する小学校を幼稚園から聞かれた。選択制についての説明などを3歳くらいで配布などしていただけるとわかりやすいと思う。(20代 女性 西部)

- 63 近年、私学への通学希望の子供が増えている。しかし、その背景には本人の意思以外に両親の意向で志望している子供がいないわけではない。子供が自的に勉学やスポーツ・部活などに打ち込めるように市立学校でも学校の特色を掲載したパンフレットをこれから入学を控えている家庭や小学校に送付するのも良いと思う。(20代 女性 中央)
- 64 年長、5・6年生の児童がいる家庭にその内容が説明されているような文書を案内してほしい。(ひょっとしたらやっているかもしれないが、自分は見たことがないので。)(40代 男性 東部)

その他

- 65 学力差が学校間で出ないようにしてほしい。(30代 女性 西南部)
- 66 問4の地域と連携した取り組みが行われていると思うかとの質問に「そう思う」と答えたことに当てはまる好例を見聞きした。
昨秋の地元の小学校だよりから、夏休みの終わりに5日間の算数教室を行い40～50名の生徒が参加した。教員の他に8名の学生ボランティアが手伝ってくれた。初めは学生も採点してくれるだけだったが、4日目、5日目になるとだんだん慣れ会話も弾むようになり、楽しく遊ぶ姿も見られた。更に9月にはこの学生達が人形劇をやってくれ、子供達は学生の別の面を見て感銘を受けたようだであった。(70代 男性 西南部)
- 67 学校公開を利用して学校の雰囲気は知ることができる。
うわさである学校は〇〇〇という間違った情報により、生徒の数が減るのも問題だと思う。平均的な人数と、レベルも平均的に同じレベルになるよう努力が必要だと思う。(60代 女性 東部)
- 68 息子がまだ1歳なので学校制度についての知識が無いのだが、好きなところを選択できると聞くと人気の偏りによって学校に差が出てしまうような気がする。
近所の学校が人気が無い学校だったら嫌だなと感じる。
小学校進学に向けてもう少し選択制について勉強したいなと思う。(30代 女性 中央)
- 69 大いにアピールしてほしい。学校によって良し、悪し、先生のレベルがあるため。(50代 男性 中央)
- 70 中学校はすべてから選択できるのに、小学校は指定校とその隣接校のみなのはなぜか？選択の幅が狭まると思うのだが、何か理由があるのだろうか？(30代 女性 西部)
- 71 子供たちが大学生の頃に引っ越してきたので小中学校についてはほとんど関係が無く選挙の折に近くの小学校に出かける程度でしか関わりが無い。(60代 女性 北部)
- 72 子供がいなかったので特になし(60代 男性 西部)

テーマ2 「市政モニター制度」について

総合政策部政策審議室（広聴担当）

政策審議室（広聴担当）では、市民の皆さんに「市政モニター」として御協力いただき、市政運営の課題や各種事業等について、アンケート調査（Eメール又は郵送で年3回実施）を実施しています。いただいた御意見や御要望等を市政に反映させることで、市民と行政との協働のまちづくりを推進しています。

今後の広聴事業の参考とするため、この「市政モニター制度」について、御意見をおうかがいします。

問1 「市政モニター制度」を何でお知りになりましたか。（○は1つだけ）

(n=98)

	構成比(%)
広報はちおうじ	69.4
市ホームページ	17.3
ポスター・チラシ	10.2
その他	3.1

【その他】

- ・ 知人から（2人）
- ・ モニター募集サイト

「市政モニター制度」を何で知ったか聞いたところ、「広報はちおうじ」がほぼ7割（69.4%）と最も多く、次いで「市ホームページ」が2割弱（17.3%）であった。

問2 任期について、良いと思う期間はどれですか。(○は1つだけ)

(n=98)

	構成比(%)
1年(今年度と同じ)	52.0
2年	32.7
3年	12.2
その他	2.0
無回答	1.0

【その他】

- ・ 基本的に以前のように任期は2年が良いと思う。しかし、人口減という社会環境の中で、住民サービスの充実化をはかることや全員参加のまちづくりという観点を重視すれば、頻繁に居住移転をされる方々の意見にも耳を傾ける必要性があるため、任期途中での再公募も含め、柔軟な制度運用がはかられるべきと考える。
- ・ 1年に2、3回の回答で何がつかめるのか。もっと意見を聞く機会を増やすことが、効率的な市政運営のために必要では。

任期について良いと思う期間について聞いたところ、「1年」が5割強(52.0%)と最も多く、次いで「2年」が3割強(32.7%)であった。

問3 1年間モニターを実際に行ってみて、謝礼の金額についてはどの程度が妥当と思いますか。
(○は1つだけ)

(n=98)

	構成比(%)
500円相当の品／アンケート1回(※今年度と同じ)	60.2
500円／アンケート1回	12.2
謝礼は不要	11.2
1,000円／アンケート1回	4.1
1,000円相当の品／アンケート1回	2.0
300円／アンケート1回	2.0
300円相当の品／アンケート1回	2.0
その他	6.1

【その他】

- ・ 本音は1000円だが、500円なのかな。
- ・ こちらからは何とも言えない。場合によっては不要で良いのではないか。
- ・ アンケート1回につき、八王子市内で使える商品券500円分。
- ・ 結果をまとめた冊子に八王子市の産品か記念品など金銭的でないもの。
- ・ 謝礼はお金ではなく、何か記念になるような品物の方が良いと思う。例えば「新八王子市史」の一部の冊子など。
- ・ 謝礼の有無、謝礼額、謝礼の形態について、事務作業による経費をも考慮に入れて検討すると、そもそもの本制度の存在意義が住民サービスに市民の意見を反映させ、充実化はかることを目的に行われる事業と考えられることから、調査研究による経費は最低限に計上すべきだと考える。また、毎年、厳しい財政状況である本市の現況から、市として市政モニター制度を今後どうしていこうと考えているのか、方向性を示した上で、モニター制度の位置づけを市民へ報告し、モニターへの謝意についてどう表すべきかについて検討すべきである。(一市民からすれば、住民サービスの充実化を最重要課題とした上で「謝礼は不要」の選択肢も十分ありうると考える。)

謝礼の金額はどの程度が妥当と思うか聞いたところ、「500円相当の品／アンケート1回」がほぼ6割(60.2%)と最も多かった。

問4 今後、市政モニター制度であなたが取り上げた方が良いと思う施策を次から選んでください。
(○は3つまで)

(n=98)

	構成比 (%)		構成比 (%)
少子化対策・子育て支援	27.6	商工業などの地域経済対策	6.1
学校教育	24.5	交通機関・駐車場の整備	6.1
防災対策	22.4	男女共同参画社会づくり	5.1
生涯学習	19.4	都市整備事業 (再開発・区画整理等)	5.1
高齢者福祉	18.4	障害者福祉	4.1
コミュニティづくり	17.3	消費者保護	4.1
行財政改革	13.3	住宅対策	4.1
財政の健全化	12.2	交通安全対策	4.1
防犯対策	11.2	高度情報化社会への対応	4.1
緑の保全や公園の整備	10.2	国際化の推進	3.1
社会福祉 (ひとり親、低所得者)	10.2	道路整備	3.1
観光・レクリエーション	9.2	清掃事業(ごみ、し尿処理、 リサイクル)	3.1
青少年の健全育成	9.2	都市景観	2.0
文化施設・文化事業	9.2	学園都市づくり	1.0
保健医療	8.2	下水道処理	0.0
不法投棄・放置対策	8.2	公害防止対策	0.0
介護保険	6.1	その他	4.1

【その他】

- ・ 市民と議会、行政の在り方について
- ・ 八王子の歴史
- ・ 自転車の乗り方や駐輪違反について
- ・ 市議会議員の活動や定数
- ・ 食育

今後、市政モニターで取り上げた方が良いと思う施策は何か聞いたところ、「少子化対策・子育て支援」が3割弱(27.6%)と最も多く、次いで「学校教育」が2割台半ば(24.5%)、「防災対策」が2割強(22.4%)、「生涯学習」がほぼ2割(19.4%)、「高齢者福祉」が2割弱(18.4%)と続いている。

問5 市政モニター制度についてのご意見・ご提案などを自由にお書きください。

良いこと、続けてほしい

- 1 初めてのモニターでしたが、いろいろ市政のことを知ることが出来て、良い体験だった。
また、関心を持つことができた。
アンケート結果を見るのも一つの楽しみだった。 (40代 女性 東部)
- 2 知らなかったことを知ったり、地域について考えるいい機会となった。よかった。
(30代 女性 東南部)
- 3 市の政策について、市民から広く意見を集めることは良いことだと思う。
(30代 女性 西南部)
- 4 市に伝えても都や国の政策によって思うように実施できないことが多いので、あまり効果がないとあきらめてしまう。
最近のように議員(政党)が度々交代するようではちょっと困ってしまうが、モニターがないと市政との連絡が取れないので大切な制度だと思う。 (70代 女性 西南部)
- 5 八王子に引っ越して間もなくモニターをやらせてもらった。
おかげで普通に生活するよりも視野を広く持てて、この市でも安心して生活できると期待感が持てた1年だった。 (30代 女性 東部)
- 6 今回2回目のモニターだったが、質問内容も多岐にわたり、これをきっかけに知る八王子の現状などもあってためになる。
他の皆さんの回答を読むのもおもしろく、是非よい市政に活かしてもらいたく思う。
(40代 女性 中央)
- 7 今回のモニター制度のおかげで知らなかった市史編さん事業について知ることができた。
今年で2年目だが、1年目のときよりももっと市政について興味を持つことができた。
(30代 女性 西南部)
- 8 大変役立つ制度だと思う。 (50代 女性 北部)
- 9 幅広い世代から市政に関する意見を求めるのはとても良いことだと感じる。回答方法も選択できるのは、こちらも都合に合わせて協力できるので助かる。
謝礼については妥当だと思う。謝礼なしだと人が集まらず、高額だと謝礼だけが目的で応募する人が増えて本当の市民の意見を集めることが出来ないと思うので。
(30代 女性 東南部)
- 10 このアンケートに参加するようになって、市政に関して携われると思えることが増えた。
広報はちおうじなども熱心に読むようになった。 (20代 女性 東部)
- 11 今後もぜひ継続して、市政に生かしてほしい。 (60代 男性 西部)
- 12 担当所管に伝え、所管もそれなりに対応しようという姿勢を見せてくれたのは、良かった。
今後のさらなる健闘を期待している。 (60代 女性 中央)
- 13 大層良い。今後も続けてほしい。 (70代 男性 北部)
- 14 本制度の存続を望む。市民の忌憚のない意見を多角的に集めて市政に反映してもらえれば、市民に開かれた八王子市の一端になると思う。 (60代 男性 西部)
- 15 一般市民の声が届く良い制度で、是非継続をお願いしたい。 (60代 男性 東部)

- 16 市政モニターの回答にあたり、自分自身で調べたり、関心を持つきっかけになった。
若い世代はどうしても市政に対しての関心が薄くなりがちだが、こういったモニターなどで市政へ参加できる機会を設けることで、若い世代も積極的に自分の町に対して考える良いきっかけになると思った。(30代 女性 中央)
- 17 初めて参加した。自分の知らない活動がわかりとてもよかったと思う。広報も前よりじっくり見るようになったし、市の施設も訪ねてみる事ができた。
八王子市の端っこからでもこの街を知る機会が持てることをうれしく思う。(40代 女性 東部)
- 18 市政モニター制度は、市民にとって気軽に市政に参加できる良い機会であると同時に、市が市民の声に耳を傾けてくれているという民意の表れでもあると思う。一年間の市政モニターを通じて、市政がどのように変革しているのかを実感することができ、大変勉強になった。今後とも市民に寄り添い、市民に愛される八王子市であってほしいと願っている。(20代 女性 東南部)
- 19 市民が、行政が行っている各種の政策や懸案事項について、市民の声を聞いて、政策を行っていくことは、大変重要なことだ。そのためには、一つの対応策として、市民の市政モニター制度は、欠かすことのできない制度だと思う。(70代 男性 西南部)
- 20 市政モニターになって市の活動に関心が深まった。もっといろいろな分野にモニターを試してみたい。(60代 女性 東南部)
- 21 市民として市政に関わることは、重要なことだと思っている。しかしながら、議会傍聴などは、時間的制約や、敷居も高く感じる。モニターであれば、大きな時間的制約もなく、市政に参加したり、市政について考えることができていると思う。勉強させてもらっている。(30代 女性 西部)
- 22 住んでいる街のことを知る機会であり、意見を言える機会であるので、今後も続けてほしい制度だと思う。(20代 女性 東部)
- 23 これからも老若男女問わず色々な市民に意見を聞いてもらいたい。(30代 女性 東南部)

モニター会議や研修会等を開催して

- 24 実際に会合しての、モニター会議があっても良いように思う。(40代 男性 東南部)
- 25 年間2度程度は全体の会合があり市長と直接意見交換の場があるといい。(70代 男性 東南部)
- 26 市政モニターの方により深く詳しく意見を述べてもらうために市政について講習会、施設の見学会、職場の説明会等があれば、より良い意見、提案が出来ると思う。(30代 男性 西南部)
- 27 メールや郵送の他、年1回程度、モニター同士の意見交換会や、市職員との意見交換会を開催してほしい。(市職員の負担が増えない程度に、直接意見を言える機会を設けてほしい。)(30代 男性 中央)

回数・質問数をもっと増やして

- 28 生の情報を聞ける絶好の機会です。年3回でなく、今知りたいことを2か月に1回、6回くらい行ったらいいのでは。 (60代 男性 西南部)
- 29 質問項目が少なすぎるのでは？
このような質問数で役に立つのだろうか？ (50代 女性 中央)
- 30 今の任期は短すぎると思う。
アンケートの回数も2か月に1回位のペースに増やしてほしいと思う。 (30代 女性 西南部)
- 31 回数について質問にはなかったが4、5回はあっても良いと思う。
今まで、広報・町会の回覧等は関係のある箇所、興味がある所以外はさっと目を通すだけであった。今回モニターになって、しっかり目を通し、内容を理解しようと思うようになった。モニターに選ばれ感謝している。 (70代 男性 西南部)
- 32 市民が考えていることが直接つたわる方法で、実に良いと感じている。
そうした意味からあえて意見をいうなら、市民の思いや思慮は多岐にわたると推測できるので、現在の状態ではアンケート頻度が少なすぎる気がする。 (60代 男性 北部)
- 33 集計作業が大変かと思うが、もう少々回数を増やし、各種のテーマで実施されてはどうか？せっかくなので、年3回は少ないように思う。 (60代 男性 東南部)
- 34 八王子市が市民の意見をどのような形で把握しているのかがわからないが、行政は市民のために行うものであると考える。その一つの手段として市政モニター制度があると思う。
従ってアンケート調査は年3回と決めることなく必要あれば何回でも実施すべきであり、市民の意見が行政に反映されるなら謝礼など不要だと考える。 (70代 男性 中央)
- 35 質問の項目がもう少し多くても、モニターにとって負担のない範囲だと思う。 (40代 女性 西南部)
- 36 アンケートの回数が少ない。インターネットの速効性がほしい。 (70代 女性 西部)
- 37 任期は1年で良いと思うが、アンケートの回数がもう少し多くてもいいと思った。
細かい項目についても回答・協力したいと考えている。
アンケートを回答することにより、自分自身も市政への参加意識が生まれるので良いと思う。 (30代 女性 中央)
- 38 3か月に1回ではなく、もっとあっても良い。集計は大変だとは思いますが。 (30代 女性 中央)
- 39 もっと頻繁に意見を聞いてほしい。 (60代 男性 西南部)
- 40 今回は年末のメールを見逃してしまったが、催促のメールをもらって気づき、回答することができて良かった。
せっかく実施されているのだから、もっと質問数があっても大丈夫かと思う。 (30代 女性 西南部)
- 41 モニターの依頼が少ない。もう少し活発なアンケート活動をしてみたい。 (60代 女性 中央)
- 42 年間3回は少なすぎ。倍の6回ぐらいは行った方が良いと思う。謝礼は全く不要。 (60代 男性 中央)
- 43 期間の長期化、調査回数の増加等があると、制度の重要性が増すと思う。

(40代 男性 東南部)

- 44 今後も市政モニター制度を継続し市民の声を市政に活かしてもらいたいと思っている。アンケート回数が年3回と少ないのでもっと回数を増やしても良いと思う。

(30代 男性 東南部)

結果を反映してほしい（反映したことがわかるように）

- 45 市政モニターの見解があちこちに使われていることがわかるように町の中に表示されるとよいと思う。

(60代 女性 中央)

- 46 アンケート結果はもらうが、市民の見解を採用して改善したというような結果がほしい。単純に意見をまとめているだけなのだろうか？

(40代 男性 中央)

- 47 モニターがどの程度市政に運用されるのかどうか、単なるアンケートでなく、建設的な意見は少しでも反映されればと思っている。

(70代 男性 西南部)

- 48 アンケートの結果がどこまで市政に反映されるのかが肝心。反映されないなら、アンケートを取る意味がなくなる（＝無駄使い）。アンケートの回数が年3回ほどであるが、これって少なくないか？それほど知りたい意見が集まって来ないのだろうか？アンケートを受けて、初めて知ること多々ある／あった。

以前は、時々、現状説明をして意見を取ることもあったようにも思う。(60代 男性 東部)

効果に疑問がある

- 49 形だけのモニター制度は意味なし、モニターして結果を公表し、それが活かされているのかはなはだ疑問の点あり。

(60代 男性 中央)

- 50 市政モニターに応募することにより、もっと八王子市について色々なことが勉強できるかなと思ったがあまり効果は無かった。以前地方のテレビ局のモニターをやったことがありその時は月に一度モニター会議があつて担当者と部長が必ず出席して会議の結果も本にまとめてくれて会社側の意欲が感じられたが、市の姿勢としてはあまり熱意が感じられなくて期待はずれだった。

(60代 女性 北部)

モニターの人数を増やして

- 51 八王子市が将来にわたり発展し、魅力のある市になる為の一助になればと思いモニターに応募し務めた。お陰で市の現況や新たな取り組みに関心を持つ機会が増えた。したがって、市のモニターをさらに増やすことにより、多くの方が市の施策に関心を持つようになり、副次的に市の活性化にも寄与できると思う。

(70代 男性 東南部)

- 52 一般の人の意見は貴重だと思う。普通の人々の素朴な疑問や意見等を吸い上げてもらえたらと思う。人数は、もう少し増やしてはどうだろうか。

(50代 女性 西南部)

- 53 今回初めて市政モニター制度があることを知り、応募した。一市民の意見をどこまで聞いてもらえるかわからないが、意見が言える機会があつてよかったと思っている。

この制度は、どれほど市民に周知されているのだろうか？

とてもいい制度だと思うので参加できる人数を増やして色々な意見を聞いてみてほしいと

思う。

機会があるなら、ぜひまたやらせてもらいたい。

(40代 女性 西南部)

各種提案

- 54 各回テーマが決まっていることは良いと思うが、モニター各人にそれぞれ得意分野、不得意分野があると思う。例えば今回の学校選択制度などについては学校へ通う子供さんのおられる方ならばもっと多くの、もっと工夫された意見が得られるのではないかと考える。

私ならば医療関係の仕事をしているので医療の分野で、常日頃このことは行政に訴えたい、と思っていることもあるが、それを伝えることは、今年の市政モニター活動の中ではできなかった。

モニターの意見は、当然のことながら、即採用ではなく議会や市政の参考意見なので、テーマに応じて相手（モニター員）をしぼってもいいように思った。その方が緊迫性のある、本当に必要な意見が行政に届くのではないだろうか。今回初めて市政モニターをやってみて、あまり得意分野ではないテーマが続いてしまい、ろくな意見が書けなかったことを申し訳なく思っている。

いつもモニターの方々の回答がきちんと集計されて、次の回に報告されることはとても良いことだと思う。いろいろなご意見を拝読することができ、私自身の人間の幅が広がったように思う。自分も一生懸命考えて意見を書くのだが、こんなふうを考える方もいる、この方がより合理的・有意義だと感じることも多かった。またいつも最後にある、テーマ以外の市政への意見も、どんなものがあるのか知りたい気がした。

このくらいのペースならもう少し長い期間やりたかった。

(40代 女性 東南部)

- 55 ・多くの方がモニターになることにより、八王子市をよくしたいという気持ちが強くなる。興味がなかったことでも、深く知ることにより知人にも話題として話すことができる。

・幅広い年齢層の人の意見を取り入れてほしい。

・モニターに興味がない、忙しい人にも知らせるような広報活動が必要かと思う。例えば、図書館、生涯学習センター、市役所、出張所などに募集のお知らせを置いてはどうか。

(60代 女性 東部)

- 56 現在の任期は1年であるが、日頃より市政に深く関心を持っている方々がモニターになっていると思うので、任期を3年程度にし、もっと多くのアンケートを実施されてはと思う。そうすればより市政に深く関心を持つとともに責任感をもってくるのではないか。

(60代 男性 西南部)

- 57 たくさんの人たちに市政モニターになってもらえるように広報・ホームページの他に八王子市が持っている資源（八王子駅北口のモニタ・市の施設の掲示板など）を使って宣伝したら良いのでは。

(20代 男性 西南部)

- 58 毎回、詳細なアンケートをもらい、市（行政）としての熱意を感じる。

しかしながら、アンケートは年に3回と少なく、任期も1年ということも重なるため、モニターとして市の事業に関し、一通りすべての領域に目を通すことは困難な状況だ。

いたしかたなく、総合的な設問を別に設けることで対応することに関して心苦しさを感ずる。

個々の部署によるニーズも刻々と変わると思う。また、モニター側もテーマについて、関心の有無があると思う。

モニターを募集する際、何らかの形で、どのようなテーマに興味・関心があるのか、応募者に聞いてみるのも一つの手かもしれない。

限られた資源を有意義に使って、市政モニター制度の充実化に尽力を願いたい。

(30代 男性 中央)

59 幅広い年齢層からの意見（子供、外国人）を取り入れてほしい。(50代 男性 中央)

60 広報はちおうじ以外でも募集のお知らせがあると、良いなと思う。

アンケートのテーマを市民から募るのは、市民の関心事を知る機会となるし、私達も意見を伝える機会となるので、とても良いと思う。(30代 女性 西部)

61 市政に関するアイデアなどをより自由に応募できるような形があったらいいと思う。

(30代 男性 東部)

62 市政モニター間で議論できるような場所（集会等でなく、ネット上での議論でOK＝なぜなら多摩ニュータウンに住んでいる住民からは八王子駅周辺に行くのは非常にめんどうなため）を構築してほしい。

そのためのルール作りが必要＝「八王子市〇〇在住 40代男性」等ある程度の情報公開は必要。モニター間のみにするか市民の議論の場にするか等。(40代 男性 東部)

63 市政モニターに参加してみて初めて知る市の取り組みや制度が多くあった。

それらの取り組みをもっとアピールする手段を考えた方が良いのではないかと思う。

八王子広報誌や市のホームページだけでは興味のない人に関心を持ってもらえるまでには不十分かと感じる。

どういった方法なら伝えられるか等をアンケートで募集するのはどうだろうか？

(40代 女性 西南部)

64 モニターは市からの質問に応える形式だが、それだけではなく、日ごろの要望や、問題点、市議会等での審議に対する考え方など、もっと市政に関する意見を述べられるような形にしてほしい。たんなるアンケートだったら町でのアンケートで十分。(50代 男性 中央)

65 広報はちおうじよりも、デジタルテレビで市政モニターの結果を市民の皆さんにお伝えしたほうが、情報が行き渡ると思う。(20代 女性 中央)

66 テーマについて：アンケートのテーマは当面の問題を選んだ方が良くと思う。

(自転車の運転について、歩道でハイスピード突っ込んで来られ危険に感じる。)

(70代 男性 中央)

67 モニターの年齢別のアンケートがあればより良いと思う。(20代 男性 西南部)

68 市政について市民から直接意見を聞くのは大変良いことだと思う。今後も継続して頂きたい。以前実施した内容であっても、その後の市民の意見を聞く必要のあるものについては再度アンケートを実施していただきたい。取り組みの成果が分かると思う。(60代 男性 東部)

その他

69 若者、ニートの支援社会づくりを。

(30代 女性 東南部)

70 前回のモニターの結果が知らされていることは良いことだと思う。

何の調査かわからないようなアンケートが送られてくることはなかったが、市の制度がよくわからないため、的外れの回答をしているのではないかと思えるときもあった。必ずしも市政全般について、知っている訳ではないので、市民として生活する中で知ったことや過去の経験からみてどう思うかを大切にしている。

市の施設の見学会はどうなったのだろうか。市の施設の見学会や説明会などの案内を同封してほしい。 (60代 男性 中央)

71 簡易にできて、より多くの人参加が期待できそう。 (60代 男性 中央)

72 毎回アンケートの集計結果を見ている。

結果を見ていると、選択式回答の集計も、記述式回答の整理もとても大変だと感じる。

それだけに、モニター制度にかかわっているすべての人にとって、有意義な場になってほしいと思う。 (40代 男性 東南部)

平成 24 年度市政モニター 第 3 回アンケート結果
平成 25 年 3 月

発行 八王子市総合政策部政策審議室（広聴担当）
八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号
電話 042（620）7411（直通）
F A X 042（620）7322
